

整理番号：1－2

提言題名：取手市内の救急出動件数について

【提言の要旨】

今年の2～3月期において、全国的に死亡者数の増加が著しいという件について、6月に取手市長および取手市議の皆様への質問状として指摘した通りですが、この期間における死因別統計が、厚労省人口動態統計より発表されました。

発表された内容は大変細かく集計されており、一つ一つ指摘してはきりがないため、当方で気になる点をいくつか抜粋しますと、前年同時期と比較して特に増えている死因として

- ・心疾患
- ・老衰
- ・誤嚥性肺炎
- ・不慮の事故

このような死因による死亡者数が大幅に増加しており、上記の死因による増加率は概ね20%前後の増加率となっております。

特に「不慮の事故」の小分類に当たる「溺死」は、前年同時期に比べ40%以上もの増加率となっており、2～3月という季節的背景から察するに、入浴中の事故と推察されます。

世代別に見てみると、各世代でほとんどが増加傾向ではあるものの、特に目を見張るのは70代を境にそれ以上の世代の増加が著しく、いくら高齢化社会と言えど、こんなに急に死亡率が増加するだろうか、との疑念を感じずにはおれません。

補足として、肺炎による死亡者は、'20年に前年より2万人ほど減少し、以降毎年だいたい同程度の死亡者数で推移しております。

また、コロナによる死亡者数は、前年同時期に比べて約倍の数字となっており、6,000人強の方が亡くなられております。

さて、取手市内における同時期の死亡者数ですが、藤井市長により調べていただいたデータによりますと、今年1～3月期で前年同時期より2.8%の増加とのことで、高齢化が加速する日本国内において、また全国平均より6ポイント以上も高い水準にある取手市において、この数字に収まっていることは不自然とは言えない状況かと思われまます。

この事自体は、全国の状況から比べると喜ばしい（亡くなられている方には失礼ではありますが）事のように思われますが、近ごろ市内を車で走っていると、救急車を見かけることが多くなったと感じております。

仕事柄、取手市内を毎日車で走っていますが、ここ数日の間で極端に増えた気がしております。

特に8/15には、昼前の2時間と夕方の2時間の間に4回、出動中の救急車を見かけました。

一部では、都内をはじめ各地で救急出動が増加しているとの指摘がありますが、前述のような死亡者数の増加が、取手市では時期がずれてやってきたのでは、と

危惧しております。

私独自で取手市内の救急出動件数を調べてみましたが、市のHPでも7月までの数字しか発表されておらず、8月分はわからない状態です。

補足として、7月までの数字としては、昨年、一昨年の数字と比較すると、微増傾向であると思われまます。

市長、および市議の皆さんへの質問もこれで3回目となりますが、ほとんどの方から返信を頂けず、大変残念に思っているところではありますが、市民の生活を守る責務を負った市民の代表たる市議の皆さんにとっても、たいへん重要なトピックだと思われまます。

また、このようなトピックはメディアではほとんど報道されておりませんが、東日本大震災での犠牲者数を大きく上回る増加数に対して、あれだけ「命を大切に」といった趣旨の報道姿勢を見せていたメディアに対し、欺瞞であるとの認識を私は持っております。市議の皆さんにおかれましては「メディアに取り上げられない事には興味ない」などということはないかと思われまますが、どのように感じ、どのように考えておられるかをお聞かせ願いたいと思います。

(令和4年7月受付)

【回答の要旨】

お問い合わせの内容について、以下の3点に分けて回答いたします。

1. 厚生労働省政府統計「人口動態統計（速報）」より発表された令和4年1～6月期における死亡数（全国・茨城県）と取手市の死亡数について、前年同時期と比較しました。

表1 人口動態統計速報死亡数（令和4年1月～6月分人口動態総覧より抜粋）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 国 R4	143,992	138,474	139,571	121,799	121,473	111,904
全 国 R3	140,844	118,984	123,579	118,169	118,634	108,734
増減	3,148	19,490	15,992	3,630	2,839	3,170

表2 人口動態統計速報死亡数（令和3.4年1月～6月分人口動態総覧より抜粋）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
茨城県 R4	3,426	3,180	3,323	2,867	2,913	2,720
茨城県 R3	3,387	2,874	2,903	2,728	2,689	2,438
増減	39	306	420	139	224	282

表3 取手市に届出のあった死亡数（当市市民課より）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
取手市 R4	139	106	121	113	118	103
取手市 R3	145	116	95	82	101	85
増減	△6	△10	26	31	17	18

令和4年1月から6月までの死亡数と前年同時期の死亡数を比較してみますと、他の月に比べ全国・茨城県共に2～3月の死亡者数の多いことがわかります。市につきましては3～4月の死亡数が多くなっています。(表1・2・3参照)

2. 令和4年2月～3月期の全国の死亡者数急増の主な死因の死亡数・死亡率までの詳細なデータにつきまして「人口動態統計月報(概数)令和4年2月3月分」で公表されたため、前年同時期と比較しました。

令和4年2月～3月期の死因別死亡数(人口10万対)については、ご指摘のとおり、発表された内容が大変細かく集計されております。

死因として死亡上位1～3位、及び抜粋されました気になる死因の前年同時期と比較して増加している死因について表にまとめました。

死因第1位である悪性新生物に比べ、第2位心疾患、第3位老衰、誤嚥性肺炎、不慮の事故の増加比率は、概ね20%前後の増加となっていることが分かりました。(表4参照)

表4 死因別死亡数(人口10万対)

年月	悪性新生物		心疾患		老衰		誤嚥性肺炎		不慮の事故	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月
R4	29,998	32,497	22,670	21,454	14,923	15,260	4,502	4,695	4,248	3,981
R3	28,959	31,873	18,804	18,853	11,769	12,456	3,821	3,907	3,436	3,370
増減	1,039	624	3,866	2,601	3,154	2,804	681	788	812	611
増減率	3.6	2	20.7	13.8	26.8	22.5	17.8	20.1	23.6	18.1

人口動態統計月報(概数)令和4年2月3月分第4表より抜粋

次に年代別の死亡数及び70～100歳代死亡数、主な死因まとめました。

表5 年齢別死亡数40代～100歳以上

年齢	全死亡	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
R4	275,193	24,921	29,704	44,072	56,617	52,081	27,165	7,010
R3	240,032	22,056	26,617	37,609	49,422	44,450	22,107	5,581
増減	35,161	2,865	3,087	6,463	7,195	7,631	5,058	1,429
増減率	14.7	13.0	11.6	17.2	14.6	17.2	22.9	25.6

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69
R4	1,185	2,349	3,629	4,822	7,117	11,900
R3	1,191	2,286	3,337	4,551	6,505	11,682
増減	△6	63	292	271	612	218
増減率	-0.5	2.7	8.6	6.0	9.4	1.9

人口動態統計月報(概数)第6表(令和4年2月3月分を合算)より抜粋

ご指摘のとおり各年代で増加傾向にあり、特に70歳代以降の増加比率が高くなっております。(表5参照)

さらに70～100歳代までの死因別死亡数について、令和4年1～3月と令和3年の同時期の合計数を比較してみたところ、70～100歳代において心疾患・老衰・不慮の事故が前年同時期と比較して増加していることが分かりました。(表6参照)

表6 70～100歳代死亡数、主な死因

(令和4年1月～3月分 70～100歳代の各世代死亡数を合算)

	全死亡	悪性新生物	心疾患	老衰	肺炎	不慮の事故
年代	70～100代	70～100代	70～100代	70～100代	70～100代	70～100代
R4	364,834	76,402	61,596	45,846	20,002	10,986
R3	327,197	74,201	54,127	37,907	19,509	9,430
増加	37,637	2,201	7,469	7,939	493	1,556
増加率	11.5	3.0	13.8	20.9	2.5	16.5

人口動態統計月報(概数)第6表 死亡数、死因(選択死因分類)累計

令和4年2月～3月期の新型コロナウイルスの全国の死亡数(前年同時期)を調べたところ、2月は前年同時期に比べ約3倍、3月は約4倍の死亡数となりました。(表7参照)同様に年代別では、全国・茨城県共に80歳代の死亡者が最多となっております。(表8参照)

さらに令和4年7月からの第7波による感染者の急激な増加に比例し、死亡者数も増加、全国の8月の死亡数は7月より約5倍の7,295人が亡くなっており、2月と比べても1.5倍の増加、茨城県におきましても8月は7月の約3.4倍の109人が亡くなり、3月と比べても約1.2倍の増加でした。(表9参照)

表7 新型コロナウイルス感染症による死亡数

全国	2月	3月	計
R4	6,503	4,630	11,133
R3	2,159	1,139	3,298
増加	4,344	3,491	7,835
増加率	30.1	40.7	33.8

人口動態統計月報(概数)第7表(令和4年3月分)より抜粋

表8 新型コロナウイルス感染症年代死亡者数(累計)2022.1.26～2022.4.5

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上
全国	3	3	4	16	50	141	330	1,252	2,282	1,080
(%)	(0.05)	(0.05)	(0.1)	(0.3)	(1.0)	(2.7)	(6.4)	(24.3)	(44.2)	(20.9)
茨城県	0	0	0	0	0	3	7	28	37	15
(%)						(3.3)	(7.8)	(24.3)	(41.1)	(16.7)

(データからわかる新型コロナウイルス感染症情報 年代別死亡者数より抜粋)

表9 新型コロナウイルス感染症死亡者数（推移）

	2020. 5. 9～ 2022. 9. 11 現在	R4. 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
全 国	42, 016	399	4, 841	4, 464	1, 472	1, 049	571	1, 304	7, 295
茨城県	618	5	63	89	44	18	6	32	109

（データからわかる新型コロナウイルス感染症情報 死亡者数より抜粋）

3. 取手市内の救急出動件数について、取手市消防警防課に確認しました。

表10 救急出動件数（急病）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	計
R4	341	296	303	290	320	266	360	392	2, 568
R3	252	209	259	235	257	281	329	341	2, 163
増減	89	87	44	55	63	△15	31	51	405
増減率	35. 3	41. 6	17. 0	23. 4	24. 5	-5. 6	9. 4	15. 0	18. 7

令和4年1月から8月までの急病件数は、前年同時期に比べ405件増加しています。急病者の増加について取手市消防警防課に確認したところ、1～3月第6波及び7～8月第7波のコロナウイルス感染拡大による影響とのことでした。

人口動態統計によると、令和4年の死亡者数は前年同時期と比べて増加しており、死因につきましては国・県の詳細な分析が待たれるところです。

人口動態統計に関する情報につきましては、今後も引き続き国や県が作成する統計データ結果等の収集に努め、全国、茨城県、取手市の現状を把握してまいります。

また新型コロナウイルス陽性者の死因につきましては、オミクロン株の感染により基礎疾患を抱える方が持病を悪化させて亡くなる事例があるとの報道がありますことから、基礎疾患（生活習慣病）の発病や重症化を予防するために、食生活や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣を改善するとともに、特定健診、特定保健指導及びがん検診の受診率の向上を図る施策を継続してまいります。

今後も当市の保健衛生行政に御理解と御協力を賜りますとともに、この度メールでの問い合わせによる情報提供をいただきましたことを、重ねて御礼申し上げます。

参考資料

表10 新型コロナウイルス感染症年代死亡者数（累計）2020. 5. 9～2022. 8. 31 現在

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上
全国	9	7	35	103	336	934	4, 860	5, 080	7, 943	3, 406
茨城県	0	0	0	5	0	17	31	90	131	60

（データからわかる新型コロナウイルス感染症情報 年代別死亡者数より抜粋）

（保健センター 令和4年9月回答）